

【基本的な考え方】

① 生徒の自主的・自発的な活動

部活動は、**生徒の自主的・自発的な活動(強制されるものではない)**であり、生徒にとって達成感や連帯感が得られるなど、活躍の場や居場所となり得る活動である。

② バランスのとれた心身の成長と学校生活

部活動は**将来、生徒たちが社会的に自立していくための力の育成に資するものであり、十分な休養の確保や学業との両立など、バランスのとれた心身の成長と学校生活の実現を図り、学校教育の一環として教育課程と関連づけて取り組む。**

③ 生涯にわたって健康で活力ある生活を送るための部活動

生徒の多様なニーズを踏まえ、生涯にわたって健康で活力ある生活を送るために、**生徒の可能性を引き出せるような部活動を実践する。**

④ 安全・安心な部活動

生徒の体力や技能に応じた活動計画を作成するなど、生徒にとってバランスのとれた生活や成長に配慮し、**科学的な根拠に基づいた合理的な指導による安全・安心な部活動**に努める。

⑤ 持続可能な運営体制の構築

外部人材を活用することで、地域人材の発掘や社会教育団体・民間企業等との連携を図り、開かれた部活動として持続可能な運営体制を構築する。

⑥ 体罰・暴力行為、ハラスメント、いじめの排除

体罰・暴力行為・あるいは人格を否定するような暴言等によるハラスメントやいじめを認めず、これらを許さない部活動づくりに取り組む。

【管理職としてのマネジメント】

- ① 毎年度「学校の部活動に係る活動方針」を策定し、部活動は生徒の自主的・自発的な活動であり、自らの適性や興味・関心等をより深く追求していく機会であることを**教職員・生徒・保護者・地域・外部人材等へ周知徹底する**など、部活動全体をマネジメントする。
- ② **生徒一人ひとりが自分らしい生き方をするための力を育成**できるよう、保護者・地域・外部人材等と連携して取り組む。
- ③ 部活動は、生徒が生涯を通じてスポーツ活動や文化的活動を実践していく上で、**大きな影響を与えるものであることを顧問（指導者）に意識させる**。また、レクリエーション志向で行う活動等、生徒の多様なニーズに応じた活動ができる部活動を設置する。
- ④ 部活動における安全について特に留意する。また、生徒の体力や技能に応じた活動計画を顧問（指導者）に作成させ、**適切な休養日や活動時間の設定の徹底を図る**。
(ア) 休養日は、週当たり 2 日以上（平日は少なくとも 1 日、土曜日及び日曜日は少なくとも 1 日以上を休養日とする。）週末に大会や発表会への参加等で活動した場合は休養日を他の日に振り替える。
(イ) 活動時間は、平日 2 時間程度、休業日 3 時間程度
・毎年度「学校の部活動に係る活動方針」を策定するとともに公表し、その運用を徹底する。
- ⑤ **教員の負担軽減及び長時間勤務の解消並びに部活動の指導体制の充実を図る**。
・学校の実態に応じて適正な数の部を設置するとともに、その活動内容を把握する。
・学校や地域の実態に応じて、学校と地域が共に子どもを育てるという視点で取組を進める。
・校長が外部人材のマネジメントを行う。
- ⑥ 部活動における体罰・暴力行為等は、人間の尊厳を否定するものであるということを、**改めて、教職員・保護者を含めすべての人たちに認識させる**。

【顧問（指導者）としての心得】

- ① 常に**『プレイヤーズファースト』の意識をもち**、生徒一人ひとりを大切にしてコミュニケーションを十分に図り、保護者や地域とも連携して、理想的な環境を構築するよう努める。
- ② 勝利だけを求める、**生徒が部活動にのみ時間を使うのではなく、学業との両立や他の有意義な活動の推進を図る等、総合的な「人間力」の育成に努める**。
- ③ 参加が強制にあたることのないようにするとともに、生徒の意志や成長を最優先に考え、生徒が自ら考え行動できる力を育成する。
- ④ 適切で安全な部活動を行うために、**生徒の発達段階や技能・体力の程度に応じた活動計画を作成し、計画に基づいた指導を行う**。
 - ・担当する部活動における、毎月の活動計画を校長へ提出する。
 - ・生徒の安全・安心の確保を徹底する。
 - ・科学的トレーニングを導入し、適切な休養を取りながら、短時間で効果が得られる活動を実施する。
 - ・様々な指導法を取り入れ、合理的かつ効率的・効果的な活動を実施する。
- ⑤ 全教職員及び外部指導者が、互いに学校組織の一員として、日常的な指導内容や生徒の様子はもちろん、事故が発生した場合の対応等についても、理解を深め、協力して部活動を運営する。
- ⑥ 部活動に関する体罰・暴力行為等は、生徒の人権を侵害する行為であり、生徒や保護者からの信頼を著しく損なうとともに、**顧問（指導者）の指導力不足を露呈しているものであるということを十分認識し、絶対行ってはならない**。